

令和7年6月23日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学校名	管理機関名	設置者の別
足利市立小俣小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年から月1回の英会話学習の実施により、英語によるコミュニケーションの基礎的資質づくりにつながっている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施により、子供たちは英語に慣れ親しむ様子がかがえ、第3学年からの週1時間の英会話学習がスムーズに展開されている。
- ・英会話学習の目的である「英語に慣れ親しむ」をよく理解した上で、今後も学習活動を展開することが必要である。

#### (4) 学校関係者による評価

##### <児童>

- ・座学だけではなく、自由な雰囲気の中でALTやEAAとの英会話学に取り組み、グリーティングやイングリッシュソング、絵カードやデジタル教材等を使用した様々なゲームを楽しんでいる。
- ・令和2年度から実施されている「英語チャレンジデイ」を児童も楽しみにしており、英語を通してALTやEAAと楽しく関わることができ、令和6年度も児童に好評であった。

##### <保護者>

- ・英会話学習を実施後、英語でのあいさつやその日に学習した単語、センテンスを進んで使うなどの様子が見られる。
- ・高学年では、自主学習として、英語ワークや参考書などを活用して取り組む様子も見られる。

#### 3. 実施の効果及び課題

- ・学習後には、教室・廊下等で「ハロー!」「グッド モーニング!」「グッバイ!」など、英語に自然に慣れ親しむ児童が増えてきている。引き続き英語が好きな児童を育てていきたい。
- ・令和4・5・6年度は英語専科が配置されていなかったが、児童が英語に慣れ親しみ、ALTやEAA、担任と児童との英語によるコミュニケーションを深めることができた。

#### 4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・今年度も担任がT1の役割を担い、ALTやEAAと連携して積極的に学習が展開されると良い。
- ・ALTやEAAとの担任との打合せ時間を確保することで、より授業の目的に合った英会話学習を展開していく。
- ・「英語チャレンジデイ」については児童に好評であったので、さらに工夫改善をして実施することが望まれる。